

全柔連発第 20-0225 号
2020 年 11 月 10 日

都道府県柔道連盟（協会）会長 殿
安全指導員 各位

重大事故総合対策委員会
委員長 磯村 元信
(公印省略)

コロナ禍における重大事故防止の徹底について

平素より当連盟事業にご理解ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。コロナ禍の続く中で、各地域では感染防止に配慮しながら練習や試合が再開されつつあります。今後、公式試合や合同練習、練習試合等が行われる機会が増えるものと考えられます。柔道の競技活動が活気を取り戻すことは柔道界にとって大変喜ばしいことでもあります。

一方で、10月に入ってから連続して4件の脳しんとうによる事故報告がありました。いずれも練習や試合で投げられて頭を打ったことが原因です。幸い重大事故には至りませんでした。幸い病院に救急搬送されたり、入院するなどの処置がとられています。

本委員会では、この時期の一連の頭部打撲の事故はコロナ禍で半年余り練習のブランクが生じたための今年度の特徴的な傾向ではないかと危機感を強めています。例年では新年度に入った5月～7月が重大事故の発生しやすい時期であり、半年遅れの今年度は今が重大事故の発生する確率の高い期間に入っていると考えられます。

こうした現状を踏まえ、以下のコロナ禍における重大事故防止の留意点にもとづいて、指導者の皆様には事故防止対策に一層のご理解とご尽力をお願い申し上げます。特に、子どもや柔道を始めたばかりの初心者には特段のご配慮をお願い申し上げます。

○コロナ禍における重大事故防止の留意点

- ・コロナ禍の練習不足等で、例年に比べて基礎体力や筋力、受け身が十分に備わっていない状況が危惧される。
- ・基礎体力や筋力、受け身が十分に備わっているかを把握して無理のない範囲で練習や試合を行わせる。特に、子どもや初心者の練習や試合には特段の配慮を徹底する。
- ・コロナ禍の今年度は日常の練習の中でも特に受け身の練習を例年以上に徹底する。

○初心者の重大事故防止の徹底事項

- ・初心者には少なくとも3ヶ月程度は高い位置からの投げ込みを行わせない。
特にこの時期は初心者に大外刈りの投げ込みを受けさせない。
- ・大外刈りの高い位置からの投げ込み（受の両脚が宙に浮くような投げ込み）、および投げ技の乱取りは少なくとも5ヶ月程度経過してからとする。

以 上